

けやき たすき

榊の榊

「学校教育目標」
 絆を深め、地域社会に
 貢献できる生徒の育成
 ○自ら学ぶ ○思いやる
 ○体を鍛える

文責 竹田 圭志

素晴らしい卒業式でした

3年生保護者の皆様、昨日はご多用の中、卒業式においでいただきありがとうございました。お子様の晴れ舞台はいかがだったでしょうか。



吹奏楽部の演奏と会場からの拍手で迎えられる中、堂々と入場した卒業生。多くの生徒がマスクを外し、久しぶりに素顔を見せてくれました。

教頭先生の「開会の言葉」。
吹奏楽部演奏での「国歌斉唱」。
ピアノ伴奏での「校歌斉唱」。

卒業生にとって3年間で初めての儀式での国歌や校歌の斉唱だったような気がします。

卒業証書授与では、担任の吉本先生、堀之内先生の呼名に大きな返事をしました。担任の先生にとってこれほど嬉しいことはなかったと思います。証書を渡すとき、一人一人に短い言葉をかけました。にっこり笑って証書を受け取ってくれました。榊台中学校でこの笑顔が見られるのも今日が最後です。うれしさと寂しさがこみ上げてきます。



「校長の言葉」「お祝いの言葉（副町長：藤井 大司 様、PTA 会長：福島 邦男 様）」では、卒業生はもちろん、在校生の聞く態度も素晴らしかったです。

在校生から卒業生に向けられた「送る言葉」。在校生代表生徒(2年生)が、様々な行事や部活動、委員会活動などでお世話になった3年生へ、抱えられないほどの感謝の気持ちを精一杯伝えました。また、「在校生合唱 (Let's Search For Tomorrow)」で卒業生への思いをしっかりと形にしました。



卒業生からお世話になった在校生や先生方、家族への感謝の気持ちを伝えた「別れの言葉（ピアノ BGM 担当 3年生）」。卒業生代表生徒(3年生)が涙ながらに熱く語る言葉は、会場を感動と涙で包みました。笑顔で送っていたように見えた中学校生活にも、いろいろな悩みや苦しむ場面があったこと、それを支えてくれた仲間がいたことを伝えてくれました。

「卒業生合唱（仰げば尊し・巣立ちの歌）」、「別れの言葉」の余韻が残る中、時折ハンカチで目頭を押さえなが



らの合唱でしたが、卒業生の「これが私たち3年生で歌う最後の曲なんだ！」という気持ちが伝わってくる素晴らしいものでした。



1・2・3年生がそろっての最後の「全校合唱（春風の中で）」は、卒業生から在校生に襷（たすき）が渡されるような…そんな感じがしました。卒業生の歌声の迫力もさることながら、在校生も「明日からは、私たちに任せてください！」と言わんばかりに心を込めて歌ってくれました。

教頭先生の「閉式の言葉」。そして、「卒業生退場」の号令で教職員

席、保護者席に全員が顔を向けて感謝のコメント。私の方こそ、ありがとうございました。

吹奏楽の演奏で退場する3年生に大きな拍手が送られました。

式終了後に、ご来賓の皆様方からも、「感動的で素晴らしい卒業式でした」と、お褒めの言葉をいただきました。



これからの人生、平坦ではないと思います。でも、そこに巣立っていく決意と覚悟を感じる式でした。

**がんばれ！
卒業生！**

